

増穂だより

vol.222



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地

TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741

URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集／芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日／令和2年12月25日 発行
■印刷／株式会社横浜総合写真



Contents

■学年情報(中学/高校)	2P	■増穂祭/球技大会/中学運動会.....	6P
■各部情報1(生徒/進路/厚生/入試広報/研究/事務室)	3P	■PTA情報/生徒会本部情報	
■思い出(増穂祭)	4P	/各部情報2(保健室)	7P
■思い出(高校球技大会/中学運動会)	5P	■トピックス	8P

学年情報

中学 1 年 「選択」の問題

つい先日、テレビ放映版「鬼滅の刃」全話を見終えた。竈門炭治郎の独白になじめずにいたが、それこそが業界で評価されたもののだとも知った。

物語は「鬼」対「鬼ならざる者」の構図に収斂するが、鬼「になる」「である」因果を描くところに、複雑さと魅力がある。炭治郎が戦いに身を投じる理由とも響きあっている。

鬼になるか否かは、各人の選択に因る。為にその責任の重みは増す。「スターウォーズ」「ハリー・ポッター」も同様の話型だ。いずれも少年成長譚の枠を超えた『選択の物語』と呼ぶにふさわしい、「選択の重圧」が描かれてある。

問題は、選択を受け容れる現代社会に、善悪の明晰な判断基準がないこと。誰もが我勝ちに選択の正当性を主張しかねず、逆に自己責任の名の下、贖えぬ罪を負うかも知れない。「それでも俺は…!」と腹を括ることができないのが、私たちの最大の困難である。

高校 1 年 年の瀬に

大切な 1 年がコロナの影響下で終わろうとしています。この 9 ヶ月間、様々な中止や縮小、自粛の中、日々の感染予防対策に粛々と取り組み、幾多の辛抱もしてきました。最上級生にとっては、きっと思い入れの深い最後の一年になるはずで、他学年にはないやるせなさがあったかもしれません。一方、他学年にとっても、入学式や研修旅行、後輩として参加する行事や大会等がないことも極めて大きなことです。本当はそれぞれの学年にしかない、それぞれの立場や発達段階に応じた貴重な学びや経験、それに伴う成長があるはずで、それらが完全な形でできずに終わってしまうことが本当に残念でなりません。しかし、こんな状況だからこそ、いかに前向きに進んでいくかが、いま問われ、試されているのだとも思います。引き続き、皆で協力し合い、いまやるべきことを着実に進めていきたい、そう思いを新たにしています。

中学 2 年 中学 21 期生 学年情報

後期に入り、文化祭・運動会と行事が行われました。文化祭では、どのクラスも工夫を凝らし自分とそれを鑑賞する人たちも楽しめるものを作るために一生懸命でした。運動会では、クラス団体種目の長縄跳びを当日に向けて昼休みに男女協力して練習している姿が印象的でした。来年どのような形態の文化祭・運動会であっても最上級学年として堂々と運営と発表が出来ると頼もしく感じました。この時期は、大人からの自立や自分探しを模索する時期になります。学校では Web コンテスト、日本文化研修プレゼンといった探究学習、2 月には職業講演などを用意しています。ご家庭でも将来の事について話す時間を持っていたきたいと思います。このあと冬休み、入試休みが続きます。年末年始はただらとしてしまいがちですが、生活や学習の計画を立て、将来の自分のために着実に力をつけて貰いたいです。

高校 2 年 2021 年になります

早くも 2020 年が暮れていきます。まさしく激動の 1 年でした。何も考えずに 1 年を過ごしてしまった人と、考えて過ごした人との差が大きく開いてしまったように感じます。

40 期の学年目標「対話」。言葉にすることによって、人は次に進めます。まずは【考え】【言葉】にし【動き】ましょう。

今皆さんはカリキュラム選択を終え模試の結果に驚きながらも次年度に向け新しい出発をしようとしています。「全部が全部、最初からうまくいくことはない。うまくいかないことをどうするかが大事」大谷翔平―「うまく物事が進まなくても、受け入れて解決すること」大坂おみ―分野の違う二人が同じようなことを言っています。歩いていく途中には転ぶこともたくさんあることでしょう。その時どう行動するかで人としての真価が問われるのではないのでしょうか。がんばれチーム 40 期！

中学 3 年 卒業の日まで

卒業アルバムやクラス文集などの卒業にむけた準備の一方で、連絡進学の出願が終わり、少しずつ高校進学後を考える時期になってきました。秋以降、1 年後の文理選択に向けて、自分の価値観や職業観を確認すること、自分の将来について考えること、そして、さまざまな学問分野を知る取り組みを道徳やワールドデイの授業を中心におこなっています。それぞれの中にしっかりと高校に進学する理由を見つけて、次に繋げてほしいと思います。ご家庭でも将来を見据えて、どんな大人になりたいのか、どんな職業に就きたいのかなど進路について話し合う機会をつくっていただけますと幸いです。

ともに探究し思いやりをもって過ごしてきた 20 期生が、残された中学校生活をどのように送り、どのように締めくくするのか、行動に期待しています。

高校 3 年 高校 3 年学年情報

日頃より学年の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

来る受験に向け、生徒たちは覚悟を持って前進してきました。自分と戦う中でも仲間たちと教えあい、高めあっている様子が見られ、孤立していく姿が見られないのは、39 期らしいと思います。これから本番が近づくなかで緊張や不安、恐れといった感情が突然現れることがあります。これこそ真剣に取り組んできた証でもあります。私たち大人と一緒に不安になっている訳にはいきませんから、適切に距離をとりつつも、生徒たちが状況をポジティブに捉え、ゴールを明確にしたうえで、最高の力を発揮するための効果的な言葉かけを日々考えたいものです。現役受験ができるのは人生でこの一回限りです。志を忘れず最後まで全力を尽くして立ち向かい、勝ち切ること。そしてこの受験を通して、生徒一人一人が逞しく自立の道を歩んでいくことを願っています。

各 部 情 報 1

生徒部 生徒部情報

冬休みを前にいくつか諸注意をしておきます。コロナの状況の中で、SNS を通じて小中学生が事件に巻き込まれることが大きく問題になっています。軽い気持ちで知らない大人から「会おうよ」と言われても絶対に会ってはいけません。まずは自分の身は自分で守る気持ちを持ってください。保護者の皆様もお子様の様子には十分ご注意ください。また、SNS では被害者になるだけでなく加害者となって他人を傷つけてしまうことがあります。今年度生徒指導を何件かしましたが、多かったのはネットに嫌なことを書き込んだり、他人の個人情報を聞き出したりすることです。本人はそんなに悪いことをしている自覚なくやりますから、絶対にしないようにしてください。SNS に限らず、学校生活や、通学時もルールを守り他人を思いやる気持ちを持って生活してください。

入試広報部 学校説明会を終えて

12 月 13 日、今年度最後の学校説明会が終了しました。

今年の説明会は、コロナウイルス感染予防対策として夏までの中学説明会はすべてオンライン開催となりました。Zoom を利用し、本校の教育内容を中心に約 40 分の説明。その後、質問をチャットで受付、それに答える形式で実施しました。参加者からは「オンライン実施でしたがとても参考になりました」と概ね好評でした。

秋以降の入試説明会は対面で実施しました。コロナ対策のため定員を制限し、説明会後の校内見学も校内案内図を配布し自由見学の形をとりました。来校した中学生から「コロナに負けず頑張ります」と力強い言葉を聞け、対面実施の喜びを感じています。

1 月よりいよいよ本校の入学試験が始まります。入試準備日から試験当日、発表日まで、説明会に引き続きご理解ご協力お願いいたします。

進路部 進路情報

今年の受験は様々な改革が予定されていました。最大の改革は大学入試センター試験が廃止され、大学入学共通テストが開始されることです。本来であれば、さらに英語外部検定を採用し、共通テストに記述問題を取り入れるという 2 つの改革の目玉がありました。実際にはいずれも延期され、共通テスト英語のリスニングも配点こそ大きく変わったものの、主要大学の大部分で傾斜配点を採用し、大きな改革とは程遠い内容となっています。追うちをかけるように 2 月から続くコロナ禍により、横浜国大が 2 次試験取りやめの発表をするなど、各大学で様々なコロナ対策が検討されています。今年の 3 年生は入試改革の方針変更とコロナ禍に振り回され続けることになりました。とはいえ、受験そのものがなくなるわけではありませんので、どのような状況であっても万全の状態でのぞめるように備えるしかありません。また英語外部検定利用も中止ではなくあくまで延期という発表ですから、現中学生は今後外部検定が採用される時期を見通しておく必要もあります。数年後には再び大きな改革もあり得ます。こういった情報に常にアンテナを張り、有効に利用することは大切ですが、そこには当然確たる学力が必要となります。そのために日々の取り組みを見直し、今やるべきことを洗い出し、気持ちも新たに新年を迎えましょう。

研究部 秋以降の SSH 活動報告

中高生の皆さんが視野を広げ、議論し、進路を考える機会となるよう、6 月のオンライン講演会「世界とことば」に引き続き、外部の方を招いて、幅広いテーマで以下の探究講演会を開催しました。

「科学技術の倫理はなぜ必要なのか(芝浦工大小出教授)」、「ジェンダーの視点から民主主義を考え直す(東大前田准教授)」、「ゲノム編集を考える(農研機構高原博士)」、「PCR 法分子生物学実験講座(東邦大佐藤教授、芝浦工大奥田准教授)」

また、今月には千葉大学法政経学部水島教授による講演会も開催されます。

高校 1・2 年生約 200 名が取り組む課題研究では、10 月にオンラインを併用した中間発表会を実施し、大学の先生や課題研究に取り組んだ本校卒業生に対して、発表に対する質疑を行いました。現在は 2 月の生徒探究発表会に向けてそれぞれ研究のまとめに入っています。

厚生部 厚生部情報

厚生部では新型コロナウイルス拡大予防のための取り組みを継続しています。

カフェテリアにはシールドを設置し、対面でも利用できるようにしました。また、ホームページからお弁当の事前申し込みができるため、食券購入時の密集を避けることができます。

中学保健委員会は感染予防のポスターを作成しました。校内の各所に掲示しますので、ぜひご覧ください。

また、教職員対象に A E D とエピペン使用の講習会を開催しました。実技演習はできませんでしたが、映像を見ながら使い方を確認しました。



事務室 冬の事務室窓口からご連絡

【年末年始の事務室窓口】

年末は 12 月 25 日（金）16:30 で終了し、年始は 1 月 7 日（木）8:30 から再開します。閉室期間中は証明書等の発行はできませんのでご注意ください。

【スクールバスの運行】

年末は 12 月 27 日（日）で終了し、年始は 1 月 4 日（月）からから再開します。時刻表は学校 Web サイト等に掲載しますのでご確認ください。

【落とし物・忘れ物】

毎日いろんな落とし物や忘れ物が事務室に届いています。名前の記載がないものは事務室カウンターまたは廊下にあるガラスケースで保管しているので、探し物がある方はお越しください。

【事務室職員の異動】

事務長が芝浦工業大学に異動となり、それに伴い 2 名が新たに事務室メンバーに加わりました。よろしくお願ひします。



● 高校球技大会 ●

高校球技大会（9/25・26）

今年度はコロナ禍で例年よりも気を使う場面が多く、運営側はもちろん、参加生徒に関しても様々な制約がある球技大会でした。

しかしながら、2日間とも生徒の笑顔が多くみられたこと、一つのことにみんなで取り組む行事を通してそれぞれの思い出ができたこと・・・、学校全体で、熱気あふれる“温かい2日間”を過ごせてうれしく思っています。

【結果】 ※種目は優勝クラスのみ記載
・総合優勝 1年4組
・総合準優勝 1年8組

・サッカー 2年3組
・ソフトボール 3年有志
・キャッチザディスク 1年4組
・ソフトテニス 1年5組
・男子卓球 1年6組
・女子卓球 3年有志
・男子バスケットボール 2年1組
・女子バスケットボール 1年8組
・男子バレーボール 1年8組
・女子バレーボール 2年6組

● 中学運動会 ●

運動会実行委員長

3年C組

運動会は楽しめましたか。規模が縮小された運動会、僕は楽しかったです。初めての委員長で運動会での挨拶などを通してリーダーとしての責任を学ぶことができ感謝しています。

青組応援団長

3年A組

青組は今まで1度も優勝した事はありませんでしたが、今回優勝することができたのは、青組の皆さんの力とそれを応援してくださった方々のおかげです。本当にありがとうございました。

黄組応援団長

3年B組

ついこの間に思える実施から、いつのまにか時が経ち、規模を縮小しながらも行われた運動会は、予想に反し、なかなかどうして生徒の思い出になっていたようで、良かったです。

● 増穂祭 ●

今年の増穂祭は充実した一日でした！

高校文化祭実行委員長

2年2組

令和2年度増穂祭は抜けるような青空の下、10月24日（土）に行われました。今年度は新型コロナウイルス禍ということもあり、多くの制約がついた文化祭でしたが、先生方や生徒の皆さんの協力のおかげで無事開催する事ができました。来年度以降の増穂祭で皆様のご来場を文化祭実行委員一同、お待ちしております。

いつも通りへ

中学校文化祭実行委員長

3年B組

今年度、中学文化祭実行委員会では例年と大きく活動内容が変わり、中学校でのオープニングセレモニーの制作及び学年ごとの企画をしました。

いつもと違った形であり当日までに完成するの心配なところもあったりしましたが特に何事もなく文化祭を終わらせることができました。

来年はいつも通り学校行事が行えるよう感染症対策を徹底して学校生活を過ごしましょう。

中学校のとりくみ

【中1】文化祭を終えて

本校で中学生が「ディベート」に挑戦することは初めての試みでした。ディベートとは「ある特定のテーマの是非について、2グループの話手が、賛成・反対の立場に別れて、第三者を説得する形で議論を行うこと」です。文化祭当日は予選を勝ち抜いた各クラスの代表2チームによる決勝戦が行われました。論題は『環境負荷を減らすために私たちは肉食を止めるべきか、続けるべきか』『今後、本は紙媒体が良いか電子媒体が良いか』です。相手に勝とうと努力していく中で、緊張感を楽しみながら、論理的思考、多角的観点、情報処理能力を身につけられたと思います。優勝チームは更に、理論的で説得力がありました。結果は1位E組5班・2位B組5班・3位D組6班です。

【中2】中学2年生の取り組み

中学2年生は『大Kahoot!大会』と『クラス発表』の2本立てで増穂祭を盛り上げました。Kahoot!とは、ネット上で早押し4択クイズができるソフトです。生徒が考えた学習系と雑学系の問題を持ち寄り、学年全員で同時に対戦し盛り上がりました。クラス発表では、Web上でできる謎解き脱出ゲームやパズル、ピタゴラスイッチ、演劇やホラーやダンス動画を制作しました。どのクラスも、限られた環境でできることを考え、最大限に工夫した発表ができたのではないかと思います。

【中3】20期の底力を見た！

中学3年生にとっては、中学生生活最後の増穂祭だっただけでなく、前例の無い新たな形に挑戦する増穂祭でもありました。「ピタゴラスイッチ」は100テイク以上撮り直して番組を作り、「演劇」は3年間コメディをやり続けた集大成を見せ、「クイズ」は各クラスこだわりのスタイルで仲間を楽しませ、「動画」ではプロジェクトンマッピングを教室に体現させました。文化祭実行委員によるゲームも盛り上がりました。濃密な1日を皆が工夫して作り出したことを、学年団一同嬉しく思います。

● P T A 情報 ●

PTA 活動報告

PTA 会長

1) 本年度の活動状況
本年度のPTA活動について、ご報告をさせていただきます。皆様ご承知の通り、本年の活動は、COVID-19における影響により、最低限の活動となっております。例年5月に開催されるPTA総会は、7月に開催し、その後、7月、8月に第1回、2回の幹事会を開催。来年1月に第3回幹事会を実施し、3月に役員会を開催で本年度の活動は終了となります。また、その間例年行われる増穂祭への参加やクラス懇親会、11月開催の文化講演会も中止となっております。

こうした、本年度の活動をする中で、本年度の総会でも、PTA予算の中で、予備費を使い、生徒の衛生対策における学校支援を行う事としていましたが、この度、11月に全クラスに対して、ジアイーンと、高校棟のトイレにオー

● 生徒会本部情報 ●

中学 中学生徒会本部役員 活動報告

今年は例年と大きく異なり、生徒会活動も大変でした。部活動紹介は各部活に動画を作成してもらい、生徒会役員が編集し、紹介動画を作成しました。自宅からオンラインでやり取りを行ったため、今までとは違う苦労がありました。対面式は6月の登校再開後のWD内で行いました。生徒会長の挨拶を放送で行い、その後1年生の教室に代表者が花とプレゼントを渡しにきました。生徒総会予算編はGHから動画配信する形を取りました。事前にしっかりとリハーサルを行いました。当日はPC動作で上手くいかないこともあり、時間もかかってしまいました。

こうして振り返ると、大きく異なる様式でも生徒は柔軟に対応していこうとしています。現在は生徒総会議案編に向けて準備をしています。今後も例年とは違う動きになりますが役員力を合わせて乗り切って欲しいと思います。

トソープディスプレイの購入設置を行いました。既に、8月に開催の幹事会では、ご報告をしていますが、改めて、皆様へのご連絡とさせていただきます。

PTA本部での審議の中でも、どのような対策が有効か、COVID-19については、まだまだ、不明確な部分も多いという事もあり、議論をしました。その中で、COVID-19に関わらず、来年度以降も踏まえ衛生面の対策を支援する事で、少しでも安心して授業に取り組める学校となってもらえればと思います。学校側でもしっかりと、運用マニュアルを整備し運用頂けているとの報告を受けております。引き続き、学校側の状況に合わせて生徒支援の費用支出を進めていければと思っております。

2) 仕事塾活動について
毎年7月・2月に開催の仕事塾は、7月は中止となりましたが、2月の中学3年生を対象とした仕事塾は開催予

定で準備を行っております。
このような状況下ではありますので、衛生対策をしっかりと取組んだ中で、細心の注意し開催をする予定です。

このような状況下だからこその働き方なども生徒の皆様にお伝えし、どのような状況下でも、社会活動を続けていくことの大切さ、一人ひとりの心がけなども伝えられる会になれば良いなと期待をしています。

3) 来年度の活動について
来年度の活動については、引き続き学校側と連携して来年3月に活動計画を策定する事となります。
世間一般的に言われる、“新しい生活様式”に合わせ、PTA活動も考え、変化して行く必要もあろうかと思っております。来期についても学校側と協調して活動計画を策定しますので、今後ともご理解、ご協力の程、宜しくお願いします。

● 各部情報 2 ●

保健室 冬も健康でいるために

体調管理の基本は規則正しい生活習慣です。生活リズムの崩れは心身の不調につながります。「十分な睡眠」、「3食バランスの良い食事」、「適度な運動」を心がけて、冬休みも生活リズムを整えて過ごすようにしましょう。また、音楽を聞いたり、スポーツをしたりなど、好きなことをしてリラックスしたり、楽しいと感じたりする時間を大切にしましょう。

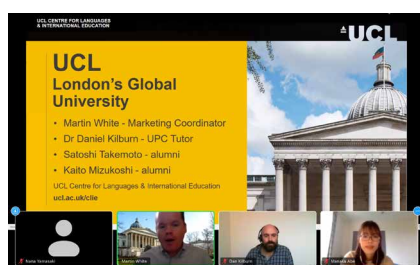
冬は風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染症が流行する時期です。引き続き感染症対策を心がけ、体調管理に十分気を付けてすごしましょう。

【受診のお願い】
健康診断の結果、異常や病気の疑いがある人へ、手紙で通知を行いました。受け取った人は、早めに医療機関を受診してください。受診報告書がついていた場合は結果の報告をお願いします。

グローバル委員会

ロンドン大学 UCL 進学説明会

毎年本校で10月に行われてきたロンドン大学 UCL 進学説明会が、今年度はオンラインで10月17日(土)に行われました。多数の生徒が参加し、大学の概要や入試方法の説明に加え、日本人の UCL 現役生・卒業生から大学生活やロンドンでの生活について生の声を聴くことができ、海外への視野を広げる良い機会となりました。生徒たちは質疑応答の時間に積極的に質問をしていました。



外務省『高校講座』

10月12日(月)高校1年生で外務省『高校講座』オンライン講演会を行いました。外務省参与・大使の堀江正彦さんが「なぜグローバル人材が必要なのか?~グローバル世界への飛躍~」をテーマに講演してくださいました。事前学習では「グローバル人材」の定義をグループで話し合い、講義後には、なぜ日本にグローバル人材が必要なのか?ということに関して、自分なりの答えを考えました。グローバル化社会に生きる一員として日本のことだけでなく海外とのつながりについて考える良い機会となりました。



本校の記事が外務省『高校講座』WEBページに掲載されています。

テニス部

高校ソフトテニス部新人大会報告

秋の新人地区大会で、男子団体戦は3位で、個人戦は1ペアが強豪を打ち破り準優勝で新人県大会への出場を決めました。11月初めに行われた県大会では、団体戦は1回戦幕張総合高校を2-0で破り、2回戦小見川高校を2-1で破りました。3回戦は優勝した木更津総合高校に粘り強く立ち向かいながらも負けてしまいました。千葉県ベスト16の戦績を収め、次回の県大会推薦出場権を得ました。個人戦でも、1ペアが西武台千葉高校、旭農業高校を打ち破りました。3回戦では残念ながら木更津総合高校に負けてしまいましたが、千葉県ベスト16の戦績を収め、こちらも次回の県大会推薦出場権を得ました。

練習時間も少ない中、部長を中心とし、練習を組み、コツコツと努力した成果が出た大会でした。男子ソフトテニス部では、歴史に残る活躍をしてくれました。次回の春の県大会でも良い成果が出るように、チーム一丸となり、しっかりと練習に励んでいきます。



弓道部

弓道部活動報告

11月に開催された新人戦地区大会において、以下で県大会に進出しました。

- ・女子団体
- ・女子個人

11月から12月にかけて、地区リーグ戦において、近隣校との試合を重ねていきます。

基礎練習を大切に、好成績を収めることができるよう、謙虚な姿勢で日々の稽古に取り組んでいきたいと考えております。



卓球部

頼もしいチームに

10月31日、柏市新人体育大会が行われ、女子団体が史上初の3位入賞を果たしました。これまで男女ともに個人戦での上位入賞はありましたが、団体としては経験者と練習量の多い他校に苦戦を強いられてきました。しかし、初めて女子の部員数がそろったこの学年は、1年次より先輩達の背中を見ながら真摯に練習に取り組み、着実に実力を伸ばしてきました。試合当日も1戦ごとにチームとして大きな成長を見せ、優勝校にも2対3と、あと1歩のところまで迫りました。今後は、今回実施されなかったダブルスも強化を図り、男女共々、次の大会も挑戦者として新たな歴史を作ってほしいと願っています。



社会科

身の回りの環境地図作品展

中学1年生の社会科では、夏休みの課題として「環境地図」を作成しています。本年の指定テーマは「身の回りの文化」ですが、自由テーマとして「防災」や「環境問題」など、一人ひとりが自らの関心に合わせて決めて作品にしました。

毎年、優秀な作品を応募しています。本年は「Go To 銭湯 in 東京都葛飾区」が北海道教育大学学長賞に、「こちら葛飾区亀有に生きる野鳥の姿」が地理教育研究会理事長賞に選ばれました。

今回の「環境地図」作成を、身の回りの様々なことに関心を持つきっかけに繋げてほしいと思います。

